

(別添3)

【鳥取県伯耆町】校務 DX 計画

令和6年12月26日付6初修教第10号「『GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト』に基づく自己点検のフォローアップの実施結果(速報値)について(通知)」(以下「自己点検結果」という。)における自治体別達成状況では、伯耆町は全国平均をやや下回る数値となっている。(本町立小中学校の平均:358.3点、全国平均398.8点)

以下の3点に関係する調査項目については、達成率が低い傾向にあるため、今後重点的に取り組む必要がある。

1 口座振替、インターネットバンキング等を活用した学校徴収金の徴収について

自己点検の結果によると、対象6校のうち66.7%の学校が実施していないと回答した。

これを受け、令和7年度からすべての小中学校において学校徴収金の口座振替への移行を行うこととし、校務のDX化のみならず、現金を取り扱うリスク回避の実現も図る。

2 校内研修のオンデマンド視聴について

自己点検の結果によると、対象6校のうち66.7%の学校が取り入れていないと回答した。

今後は、鳥取県下の小中学校で利用しているGoogle Workspaceの機能を活用することで、中継もしくは録画による研修内容の視聴を可能とする環境を整備し、通常業務とのバランスに配慮した研修実施体制の実現を図る。

3 業務で押印が必要な書類について

自己点検の結果によると、対象6校のうち100.0%の学校が業務で押印が必要な書類があると回答した。

本町では押印及び公印の省略等に関する例規を令和4年4月1日に施行しており、当該例規に基づくかたちで学校からの書類の押印省略化を進め、書類のやり取りを紙媒体から電子メールなどに移行させることで事務の簡素化や省力化を図る。